

先生になりたい人が減っています 働き方改革にご理解とご協力を！

教員が子どもたちの前で生き生きと働き、
子どもたちの教育環境を充実させるために

長時間勤務が大きな課題

- 年間360時間を超える教員
・・・44%（管理職は72%）
- 月80時間を超える教員
・・・306人（過労死ラインの目安）



学校行事の見直し

これまで続けてきた行事であっても、見直すことがあります

欠席連絡等アプリ

紙による通知を減らし、教員と保護者、双方の負担軽減を図ります

時間外の電話対応

勤務時間外は、音声応答装置による対応としています

学校閉庁日の取組

夏休みなどに、学校園に勤務しない日を設けています

部活動における取組

部活動指導員を配置し、休養日等を設定しています



詳細はホームページまたはお電話から

教育委員会事務局教務部教職員給与・厚生担当

☎ 06-6208-9132（月～金 9:00～17:30）

